

明るく働きやすい職場づくりを!

長野地本・信州ロジステイクスで加入 1月23日付

国労加入を大胆に呼びかけよう!



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

No. 788 定価 20円

2017年

1月31日

つなげよう
技術と魂と
運動を

QRコードから
でも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>

国労東日本本部は、最重要課題である組織強化・拡大に向けて、各地方本部と連携を強めてきました。また、2017春闘における、大幅賃上げ獲得、労働条件改善、反戦・反原発等の政治闘争の強化が重要な課題になっています。

今号は、①長野地本の組織拡大報告、②秋田地本「国労全国安全キャラバン」報告、③仙台地本「2017年春闘勝利活動家交流集会」、④東日本本部運輸協議会第29回定期委員会、⑤東日本本部乗務員勤務プロジェクトの報告を掲載します。

1月23日、JR貨物・信州ロジステイクスで、岸田浩司さん(43歳)が国労加入しました。

岸田さんは、平成23年入社。現在、開発事業部でエクステリア商品加工などの業務に携わっています。しかし「仕事のことで悩みがあっても一人ではどうにもならない現実があり、仲間とともに話し合える場が必要」と感じていました。

現在、信州ロジステイクスの国労組合員は4名となりましたが、職場が北長野営業所、松本営業所と離れていることが

ら、分会では組合員の親睦を兼ねた学習交流会を昨年10月から取り組んでいます。第1回目には組合未加入者も含め10名が参加しました。

そして、12月に2回目となる学習交流会を開催するにあたり、以前から親しかった国労の仲間が岸田さんに声をかけ、参加してもらいました。

岸田さんは「若い組合員が多いことに感動し、日頃悩んでいた職場の問題点などについても話されていく」と交流会の印象について語っています。分会として、さらに

労働組合について理解してもらおうよう、労働組合法や国労の歴史などの資料を渡しました。1月には班の新年会にも参加してもらい、その場で分会長から国労加入を呼びかけたところ、加入の決意をいただきました。

貨物長野分会は、岸田さんと共に明るく働きやすい職場づくりと組織拡大に向け、全力で取り組みます。



JR30年を問う 1月8日

国労全国秋田安全キャラバン

安全な公共交通を目指して

1月8日、JR30年を問う「国労全国安全キャラバン秋田」が秋田市内のくらしと労働会館において、組合員、退職者の会、他団体40名の参加で開催されました。

R30年』を問い直し、都市と地方鉄道、JR各社の間で広がる経営格差や構造的な問題点、安全対策等について検証し、安全で快適、持続可能な交通政策の実現をめざして利用者や地域の皆さんとともに運動を進めていきたいと思います」とあいさつがありました。

その後、「鉄道線の廃止と地域社会の消滅」をテーマに講演があり、講師の高木一彦弁護士は「大都市に若者を吸い上げる人口ブракホール現象の大きな要因として、国鉄の分割民営化以来の地方鉄道路線の廃止がある。しかし、国は意図的な地方切捨てが方針となっている。バスへの転換は公共交通を失う道であることを分割民営化後の歴史が教えているが、自治体は鉄道を存続しようにも金がない。地方にとって鉄道という公共交通の確保をめぐる闘いはまさに死活の問題。JR北海道のように採算性という基準で鉄道路線を廃止することは地方地

域社会の切捨てを意味する。国労の定番である」と述べられました。

そして東日本本部・武笠執行委員からは「JR30年検証による鉄道の安全」として、①国鉄の分割民営化以降のJR各社の実態。②好調に積み増しづけるJR東日本の内部留保。③JR東日本で連続して発生する車両・設備故障。なぜ同じようなトラブルが繰り返し発生するのか。④車両・設備部門における業務委託や技術力継承についての実態。⑤「合理化」効率化との闘いに対する組合員の思い、などについて報告がされ、キャラバン行動を展開しました。



第二部はテーマ別に講演が行われ、冒頭に秋田地本・佐藤委員長から「今年の4月で国鉄がJRに移行して30年を迎えます。私たちは、JRの輸送業務に携わる労働組合として、あらためて『J

安全キャラバンの第一部として、秋田駅前でのチラシ配布行動が組合員20名の参加で行われ、500枚の安全を訴えるチラシを配付して市民に訴えました。用意したチラシはあつという間に無くなり、予想を超える反応がありました。

(秋田地本発)

仙台地本 2017年春闘勝利 活動家交流集会 1月8日 開催!



仙台地方本部は1月8日、「2017年春闘勝利活動家交流集会」を開催。各支部と分会代表が参加し、今年一年の闘う方向性を全体で確認しました。主催者を代表して大沼委員長が「①一昨年11月、労災事故で亡くなった組合員のご遺族に義援金を届けた。取組みに感謝し、お礼の報告とする。②労働者保護の政策実現、護憲、平和、人権、環境を守る運動を進める。③エルダー問題や業務委託職場での安全・サービス低下の改善が急務。一括和

解から10年、「国労差別をしない」が定着しつつあり、昇進・人事異動でも前進。今後は懸案事項の支社越えの扱いに集中し取り組む。④昨年郡山駅での5人の組織拡大は組合員に勇気を与えた。若手に組織を引き継げるよう最大限努力する。⑤17春闘を現場から作り上げよう」と挨拶をしました。労働講座では、「月刊労働組合」編集長の松上隆明氏から「17春闘情勢と私たちの課題」と題して講演が行われ、「日本資本主義の行き詰まりとそれを打開できないアベノミクスは完全破綻した」と喝破。「今後資本側は『働き方改革』として『格差を正当化』する」と予測。「一方で格差を許してきたのは労働運動の停滞にある」として、国労に対しても「格差の是正を図るため更に力を入れてもらいたい」と叱咤激励されました。

その後、仙台地本6支部を代表し、宮城・福島・自動車の各支部から、この間の闘いの総括と今後の運動課題等について発言があり、地方本部からの提起を挟んだ後の全体討論では11人の仲間が活発に発言しました。そして出された意見への答弁の後に原子書記長が会議のまとめを行い、大沼委員長の団結頑張ろうで集会を閉じました。(仙台地本発)

安全・安定輸送の確立。③組織強化・拡大の取組み、についての問題提起を受けました。

その後、仙台地本6支部を代表し、宮城・福島・自動車の各支部から、この間の闘いの総括と今後の運動課題等について発言があり、地方本部からの提起を挟んだ後の全体討論では11人の仲間が活発に発言しました。そして出された意見への答弁の後に原子書記長が会議のまとめを行い、大沼委員長の団結頑張ろうで集会を閉じました。(仙台地本発)

休憩を挟み、東日本本部・佐藤書記長から、①16年度末手当獲得の課題から17春闘へ。②労働協約改訂、労働条件改善

乗務員勤務プロジェクト「食べる・寝る・トイレ」要求に共感が広がる!

第29回 11月16日・17日 運輸協議会 定期委員会



東日本本部運輸協議会は、11月16日～17日に第29回定期委員会を開催しました。直前の15日に会社側から組合側に「来年度以降、グリーンスタッフ(GS)の採用は行わない」と通告がされる中、東日本本部・佐藤書記長から現状

報告と今後に向けた提起がされました。各委員の報告では「あと2年で委託職場と本体の組合員数が逆転する。何とか組織拡大を！」「仕事や技術の継承ができません。今後作業が不安になる！」「一人乗務でも緊張し、疲れる」「お

体的に教えてほしい」という要求に伝えられるように今後の取り組みに向けて更なる検討を進めていきます。また過去に制作した「乗務員勤務Q&A」の冊子についても、会社の乗務員勤務の解説と国労の主張を記載しており、「とても参考になる」との報告がありました。ダイヤ改正の度にきつくなる行路や、女性乗務員の配属の増加などに伴

最新のがん保険、**新登場。**

アフラック

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
(引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日